

【第21回 目白大学人間学部子ども学科公開講座】



# 保育の質向上と養成・実習

— 保育ってこんなにワクワク！の輪を広げるために —

【日程】 2022年7月23日(土) 13:00-15:00 (12:45より入室可)

【場所】 オンライン開催(Zoomウェビナー) ※動画のアーカイブ配信はありません

【お申し込み】 <https://mejirokodomo2022.peatix.com>  
(上記URL、またはQRコードよりPeatixにアクセスし、お申し込みください)



【参加費】 無料 【定員】 先着1000名

【お問い合わせ】 目白大学人間学部子ども学科 [univkodomo@mejiro.ac.jp](mailto:univkodomo@mejiro.ac.jp)

※当日、Zoomの使い方および、通信環境などのサポートはありません。事前のご準備をお願いします。

## <プログラム>

- ・13:00-14:00 基調講演  
大豆生田 啓友 氏  
(玉川大学教育学部・教授)
- ・14:00-14:30 話題提供  
高橋弥生 (目白大学・教授)  
松永愛子 (目白大学・准教授)
- ・14:30-15:00 ディスカッション

## <企画趣旨>

保育の仕事の楽しさが質向上にもつながる養成や実習のあり方を考える際、どのような視点や方法で検討することができるでしょうか。

本公開講座では、大豆生田啓友先生(玉川大学)を講師としてお招きし、学生、養成校、園や施設の先生方がともに学び合う養成や実習のあり方についてご講演いただきます。保育にかかわる多くの方のご参加をお待ちしております。

## <講師プロフィール>

### 大豆生田 啓友 氏

(おおまめうだ ひろとも)

経歴：青山学院大学大学院文学研究科教育学専攻修了後、青山学院幼稚園教諭等を経て、現職(玉川大学教育学部・教授)

社会的活動：日本保育学会理事、こども環境学会理事、日本乳幼児教育学会理事、厚生労働省「保育所等における保育の質の確保・向上に関する検討会」委員(座長代理)、よこはま☆保育・教育宣言運用協議会委員、yahoo japan公式コメンテーター、NHK・Eテレ「すくすく子育て」出演、等

著書：『子どもと自然(あそびが学びとなる子ども主体の保育実践)』(学研プラス 2022)、『非認知能力を育てる「しつけない」しつけのレシピ』(講談社 2021)、『これからの時代の保育者養成・実習ガイド：学生・養成校・実習園がともに学ぶ』(中央法規出版 2020)、『教育・保育の現在・過去・未来を結ぶ論点一汐見稔幸とその周辺一』(エイデル研究所 2019)ほか多数



【共催】 目白大学大学院生涯福祉研究科

【後援】 新宿区・新宿区教育委員会